

北海道における農工連携の基盤構築

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 工業試験場、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 食品加工研究センター、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 森林研究本部 林業試験場、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 森林研究本部 林産試験場、国立研究開発法人 産業技術総合研究所 北海道センター

授与の理由

- 産総研と道総研が協力して平成30年から3回の農業・水産業と工業技術の連携についてのシンポジウムを開催して計800名超の参加者を得るとともに、道総研はのべ792社の食品関連企業にロボット導入の研修を実施した。
- 農研機構、森林総研など北海道にある関連支援機関12機関も参加する一次産業支援の連携基盤が形成された。

活動内容

- 北海道は国内における一次産業の割合が高く、一次産業の効率化・省力化を最も必要とする地域である。北海道立総合研究機構（道総研）各機関は経済産業省の補助金による「食品ロボット実証ラボ（ROBOLABO）」などで食品企業支援に取り組んでおり（延べ792社が研修を受けた）、産総研はロボットマニピュレーションの指導や「AI道場」を平成30年と令和2年度に開催するなど協力している。
- 北海道の一次産品の付加価値向上のため、産総研北海道センターは、道総研食品加工研究センター及び林産試験場の各研究所との間で、核内受容体を用いた食の機能性解析の共同研究を行っている。
- 産総研は道総研各機関の協力を得て、北海道における一次産業と支援のためのシンポジウムを開催。
 - 「アグリテクノフェアin北海道」平成30年3月13日、北海道札幌市、参加者352名
 - 「産業技術を農業イノベーションへ」平成31年1月31日、北海道帯広市、参加者196名
 - 「産業技術で拓く水産業の新時代」令和元年11月12日、北海道函館市、参加者264名
 - 「林業・林産業と産業技術が創る未来」令和3年2月2日、北海道旭川市、参加登録者296名
- これらの活動を通じて、産技連活動を北海道における農工連携に繋げる基盤が構築されている。

